子どもの森通信

第７号

2010 年 5 月発行

豊かな森づくり……２～３
森に学ぼう！森と遊ぼう！…４～５
森の学舎……６～７
２２年度活動予定……８

自然の回復を願って

ずっとずっと昔からのご先祖様たちのおかげで、現在私たちは本当に便利な物に囲まれ、豊かな暮らしに恵まれています。毎日のように新しい便利な物が開発され、感心するばかりです。

ただ、その裏側には、便利な人間社会の犠牲となった自然が存在しています。熱帯地方のスコールのような大雨、街に下りてくる動物たち、動植物の絶滅、地球温暖化、酸性雨、食糧・水不足・・・。最近の自然環境の異変は、もう誰でも身近に感じることができます。

私たちの子孫がこれからもずっと永遠にこの地球で幸せに暮らしていくためには、一刻も早く自然破壊をくい止め、自然環境を回復させてゆかなければなりません。そのために私たちができること・・・それは無駄をなくすこと、そして壊された緑をもとに戻していくことだと思います。緑が増える、それだけでいろんな面での好循環が期待できるのではないでしょうか。緑を増やすシステム、ビジネス、金銭的な余裕もない今、森林ボランティアの活動はとても貴重だと思います。これからもボランティアの一員として、精進していきたいです。

子どもの森理事　斉藤恵理香

NPO 法人子どもの森は、平成１５年に設立。**子ども**たちに良質**の森**（環境）を残すために、地域しいては地球規模で自然環境が悪化している現在において、自分たちでできる環境を保全することの大切さを理解し、興味を持ってもらうための環境啓発の活動を実践しています。

森づくり

五感 GOCANの森 下刈り作業

2009年6月20日

門川高校生との協働で進めているGOCANの森も4年目を迎えました。

この日は、高校生ボランティアと先生30名と株式会社西の丸のボランティアグループ7名、一般ボランティア4名の皆さんの協力により、下刈り作業を行いました。

朝、8時50分に集合し、高校生と一緒に、本部設営・簡易トイレ設置・道具を準備し、オリエンテーション（あいさつ、作業での注意、ストレッチ体操）を済ませて、作業を開始しました。

小雨が降ったり止んだりと、若干天候に恵まれませんでしたが、参加者全員が一緒になって、約1時間で下草刈が終りました。休憩をはさんで、高校生は苗木の調査、他の参加者は、刈残しや櫨の木の刈払いを行ないました。

活動終了後、森の学舎に移動して、そうめん流しでの昼食となりました。森の学舎では、道具の手入れ・そうめん流し台と竹おわん作り・そうめん準備を分担してもらいました。そしてお待ちかね（だったと思う）のそうめん流しで昼食をとりました。

こどもの森一号地

杉と広葉樹の針広混交林の「こどもの森一号地」は、植樹をして4年が経ちました。この森は、植樹した苗木400本が一本も枯れることなく、100%の活着となっています。

生長もよく、植樹時の苗木の樹高は、1mでしたが、2009年で、3mとなり、2010年4月には、4mとなっています。現在は、落葉した状態で写真では確認し難いため、掲載できないのが残念です。

2006年3月26日植樹

2008年9月

こども森一号地、GOCANの森、竹林の整備は、森林環境税「森林づくり活動」より一部助成を受けて活動をしています。

森づくりボランティア養成セミナー

環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティアと、森づくり活動を自らコーディネートするリーダー的ボランティアを育成します。また、この事業（NPO・ボランティア活動人材・体験プログラム開発事業）は、昨年の継続事業として宮崎県社会福祉協議会及び宮崎県生活・協働・男女参画課とお互いの立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するために協働して取り組んでいます。

～受講者の感想・意見～

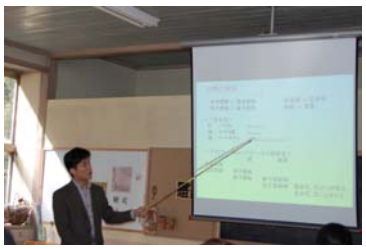
宮崎県の自然がとても好きなので、死ぬまでここで暮らして行きたいと思っています。そんな中で、この自然を守る事に自分の力が役に立つことができれば、さらに楽しい人生を過ごすことができると思います。

無理のない範囲で下草刈り作業他に参加できることがあれば活動に参加したいと思います。受け入れありがとうございます。準備など大変だったことと思います。今回のセミナーを通して森づくりに少しでも参加したいと思います。

山の問題である間伐について、積極的に協力することを考えてみたい。

森についてまったくの素人で、まだまだ何もわからない状態ですが、時間の許す限り積極的に参加して行きたいと考えています。

◇2010年2月7日（初日）		
10:00	開講式	事務局
10:10	森と環境の関係・里山概論	宮崎大学農学部准教授　髙木正博氏
13:00 14:00	安全管理 チェーンソー、刈払機等の山林作業機材の使用方法	林業木材製造業労働災害防止協会 川戸　緑 氏
16:00	終了	
◇2010年2月21日（2日目）		
10:00	県内の森づくりボランティア活動の実態	子どもの森理事長
12:30	森づくり作業（間伐）	地元林業者　松本哲也氏、他
15:10	閉講式	



髙木正博先生の講義

チェーンソーの使い方

伐採中は安全地帯に退避

実際に杉を伐採しました

豊かな

森の学舎裏山「竹林の整備」　竹伐採前

２０１０年３月21日植樹

子どもの森が取組む森づくり

◆**妖精の森（竹林の整備）**

森の学舎の裏山の手入れがされていない竹林の一部を、子どもが入り遊ぶことができる広葉樹の林に再生し、人や動植物にやさしい自然環境、生物多様性と水源かん養や災害の防止など森林の公益的機能の維持増進を図っていきます。

伐採した竹は、チップ化して肥料、竹炭、小屋の壁など使用していき有効活用を図っています。

◆**ＧＯＣＡＮ（五感）の森**

台風で植林されていた杉が流された門川高等学校演習林の自然環境の復元を図り、水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生させるため、門川高等学校生徒と一緒に、五感で森林自然を感じることが出来るように整備をしています。

◆**こどもの森一号地**

地球温暖化防止と荒れた森林の保全を目的として、杉が間伐されている杉林に、広葉樹を植樹。植樹地は、杉と広葉樹の針広混交林としています。

ＣＯＰ10（10回目の締約国会議）

「ＣＯＰ10」が２０１０年10月、愛知・名古屋で開催されます。「ＣＯＰ（Ｃｏｎｆｅｒｅｎｃｅ ｏｆ ｔｈｅ Ｐａｒｔｉｅｓ）」とは、国際条約を結んだ国が集まる会議（締約国会議）のことです。多様な生き物や生息環境を守り、その恵みを将来にわたって利用するために結ばれた生物多様性条約のことです。「生物多様性」とは、あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を言い、さらに、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念です。

自然農法の黒木さんが伐採を担当 10/31・12/13

山斜面から一本ずつ竹を引っ張り、滑り降ろしました。 11/8・15・19・12/20・3/13

急な山斜面での植樹　（スダジイ・コナラ　ヤマザクラ・クヌギ）2010年3月21日

植樹する場所には、タケノコがでていて、植樹しながらタケノコ掘りも…

植樹後は、お楽しみ「春を楽しもう」野草、山菜を畦道等で収穫しました。

山菜料理のバイキング　（たらの芽・ヨモギ・ノビル フキの葉・土筆・わらび・カラスノエンドウ・レンゲ・ウバユリ・たけのこ）

自然体験・環境学習支援

森の学舎を活用して、いろんな団体さんに環境学習、自然体験をしていただいています。企画も相談に応じています。

森に学ぼう！森と遊ぼう！

2009年4月～2010年3月

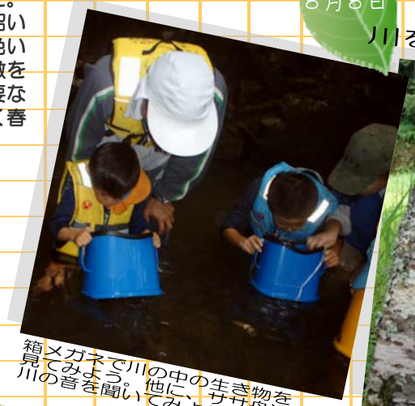
めでる・味わう春の野草

4月25日

平成２１年度総会終了後に、野花の観察会と食べられる野草探しを行いました。環境アドバイザーの古田栄子さんを招いて、森の学舎周辺を散策しながら黄色い花を中心に草花の名前の覚え方と特徴を調べて行きました。また、野草は必要な分だけを収穫して、調理して美味しく春の味覚を楽しみました。

川をたのしく親しもう

8月8日



メガネで川の中の生き物を箱見てみよう。他に、サケ舟流し、川の音を聞いてみようを体験

森の学舎周辺でのネイチャーゲーム何をみつけたのかな？指導は、ワフェックス宮崎ネイチャーゲームの会リーダーの長友範子さん山崎裕さん、中西由美さんです。

財光寺ジュニア陸上の皆さんがネイチャークラフトを体験クラブ創立20周年記念品として作品５０個を作成しました。

12月26日

森の学舎は、空気がとてもきれいで、ふだんは聞けない鳥のさえずりも聞こえるような所にあり、昔は分校だった場所です。そこで色々な種類の木の実や木の葉を使って、かわいい作品がつくれ楽しい時間がすごせる場所でした。
財光寺南小学校６年　岩崎うらら

10月11日

北郷小学校４年生と保護者の皆さんが環境学習クラスレクリエーションとして、森の学舎で環境学習（どんぐりクイズ、どんぐり工作）自然体験（飯ごう炊飯、あぶり焼きソーセージ作り）を行いました。

お兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒にネイチャーゲームを体験しています。ネイチャーゲームの指導は、フェニックス宮崎ネイチャーゲームの会リーダーの古田栄子さん、野添美知代さんです。

3月7日

Kenpoku·Pamakiの環境学習
日向市で活動しているKenpoku·Pamakiのメンバー８人が、ネイチャーゲーム・ゴミ拾い環境学習（なんでもマイレージ）を体験しました。

ボーイスカウト研修

7月
11月
3月

ボーイスカウト活動の中では「森の学舎」にある沢山の竹材を利用し信号塔やブランコを作る事でロープワークを勉強しています。
ここは自然からの贈り物が沢山あります。
ボーイスカウトは、やはり野外におけるキャンプ生活が一番です。
自然はいろいろな試練と課題を与えてくれます。
テント設営や立ちカマドを作ったりします。　　延岡第４団　田中隊長

森で過ごそう！森に学ぼう！

12月6日

どんぐりの苗木づくり（竹ポット）
自宅で育てて２年後に山に戻します。

樹木の高さを測っています。
樹木の二酸化炭素の吸収量を計算していきます。

環境プログラムは、ホームページやポスター、新聞記事等で広く参加者を募集して実施しています。これからの次代を担う子どもたちに、良質な自然環境を残すためには、体験型の環境教育は、重要なかぎとなるはずです。

森の中等での体験活動にこだわり、楽しみながら遊びながら、結果よりプロセスを重視して、環境について考えてもらう工夫をした催しを開催しています。また、子どもの森の環境プログラムには、ネイチャーゲームを取り入れています。

ネイチャーゲームをすると、
○自然や環境への理解が深まります。
○五感によるさまざまな自然体験が得られます。
○自然の美しさや面白さを発見できます。
○他者への思いやりや生命を大切にする心が育ちます。
○感受性が高まります。

ネイチャーゲームとは、１９７９年、米国のナチュラリスト、ジョセフ・コーネル氏により発表された自然体験プログラムです。

いろいろなゲームを通して、自然の不思議や仕組みを学び、自然と自分が一体であることに気づくことを目的としています。

自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しめます。現在１００種類余りあり、自然に関する知識の有無や、年齢に関係なく楽しめます。

会員研修

熊本県水俣市／村丸ごと生活博物館
平成２１年５月１日～２日

棚田がすばらしい大川地区

日向市／自然農法
11月５日

古代米

黒木巌さんを囲んで

釜戸

さすがに、素人ではかまどを作るのは難しいので、友人のお父さんで元職人さんにお願いし製作していただきました。

レンガをカナヅチひとつで割って狂いなく並べていました。すごい、まさに職人芸です。予定通り３日間で完成しました。炭でコーティングがされシックな雰囲気の二連式かまどです。

2009 年 12 月 10 完成

活動の合間を利用して、教室棟グランド側に、薪ストーブを設置しました。森づくりボランティア養成セミナーには、薪ストーブで暖をとりたかったのですが、煙突の買い入れが間に合わず、設置する時間もとれず、しかも設置した煙突を何度かやり直し、やっとのことストーブの慣らし焚きまでこぎつけました。

2010 年 2 月 14 日完成

薪ストーブ

五右衛門風呂

小屋製作は 2009 年 9 月から始め 11 月に仮完成しました。その小屋への五右衛門風呂の設置をしました。五右衛門風呂の製作経験者がいるわけもなく、悪戦苦闘し、理事長が子どもの頃を思い出しながら五右衛門風呂の完成をイメージし、手探り状態で製作を進めて行きました。壁は、森づくりで伐採した竹を活用しました。

2009 年 12 月 19 日完成

○森の学舎の開放○ネイチャークラフト体験
○カーボンオフセットグッズ販売について

森の学舎（もりのまなびや）使用

森の学舎では、環境関係の本を設置した森の図書館やネイチャークラフト体験、五右衛門風呂を体験できます。五右衛門風呂は、自分で薪を切り・割り、火熾をします。また、釜戸での炊飯体験などの多くの原体験ができます。

自然の中の豊かでスローな時間が、自然の摂理を肌で感じ心癒され、子どもたちの成長を促します。

◆広場（グランド）のみ使用…無料

※トイレ使用については寄付をお願いしています。

◆１日開放：１０００円（団体）

◆宿泊開放：５０００円（団体）

※森の学舎の宿泊開放の使用料には、五右衛門風呂の体験が含まれています。

※環境学習を取り入れた活動などの企画にも対応しています。ご相談ください。

ネイチャークラフト

好きな材料を選んでボンドを使って組み立てていきます。世界に一つだけのネイチャーオブジェが作れます。

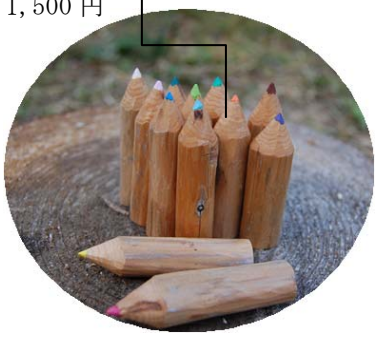
30 分から１時間で完成します。どんなオブジェになるかは、あなたの工夫次第。　１作品 300 円

ネイチャークラフト

桜等の枝パーツを組み立てていきます。　１パーツ 400 円

カーボンオフセットグッズ

どんぐりペンダント 400 円
どんぐりストラップ 300 円
流木色鉛筆 12 色　1,500 円



カーボンオフセットとは、省エネなどの努力をしても、どうしても排出してしまう温暖化ガスを自分ではない別の場所・別の人が行なう「温室効果ガス削減事業」の効果を得ることで差し引きゼロにするという考えです。カーボンオフセット商品を購入することで、子どもの森での「森づくり」活動に活かされ、CO2 の削減活動につながっていきます。

森の学舎

旧西門川小学校松瀬分校（教室棟と管理棟の２棟）が、森の学舎（まなびや）に生まれ変わってから２年が経過しました。現状態での譲与であったため修繕を施さないと建物として使えない状態でした。

１年目は、２棟の天井を含め室内掃除に４ヶ月かかり、会員と他ボランティアによって、教室棟外壁板の水洗いと防腐剤塗装、窓枠のペンキ塗装、管理棟のトタン屋根ペンキ塗装などを行いました。教室棟の玄関戸の設置とグランド側アルミ窓を木枠窓への交換や、欠落していた外壁モルタル補修、雨漏りも修繕しました。１年目の補修繕により、活動拠点としての整備ができ、また、環境関係や図鑑などを揃えて環境文庫を開設し、常時利用できる施設づくりを進めてきました。

２年目は、グランドに五右衛門風呂小屋・二連式釜戸小屋づくりと薪ストーブの設置を行いました。水漏れが発見された浄化槽の修繕も行ないました。電気や水も使用できるようになり、宿泊による活動ができるようになりました。また、環境学習などを取り入れた他団体による森の学舎の使用もありました。

21年度から始めた裏山の放置竹林の整備は、森の学舎とその周辺の景観づくりにも結びます。

３年目以降の森の学舎では、今まで実施した体験型環境学習と森づくり活動のノウハウを活かし内容を改善し、森の学舎と地域で構成される人と自然環境の関わりである原風景を使って人の内なる自然を誘発する原体験を意識して、森と川と農をテーマにした体験型環境学習と環境問題に取り組む活動を進めて行き、環境文庫の充実と他団体の利用の促進に努めたいと思います。

１００年以上の歴史のある学校は、世代を越えた地域の結節点であり、人々の思い出の詰まったシンボリックな場所であるため、環境保全や環境体験学習、森づくり等の環境問題への取り組み活動の拠点としてだけでなく、中山間地域と都市部とのコミュニティーとしての役割も持たせていきたいと考えています。今後は、行政や他団体、地域との協働も視野に入れて、森の学舎の充実発展に努めていきます。

1

2

3

4

5

6

1 森の環境図書館

2 小屋の柱用穴掘り

3 小屋の屋根板張り

4 五右衛門風呂釜づくり

5 五右衛門風呂小屋

6 釜戸づくり仕上げ作業

なかま（会員）募集中

なかまが増えれば、もっと多くの充実した活動ができます。あなたの持っている能力を、子どもの森の活動に活かしてみませんか？

みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体としての活動
研修：間伐作業　9月19日・20日

伐採した切り株をチャック。受け口・追い口・つるがキチンとできているかを全員で確認し伐採作業の問題点を把握しました。

みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体としての活動
森づくりシンポジウム1月31日

「森・ひと・こころ」をテーマに、環境保護活動家のC. W. ニコルさんの講演、パネルディスカッション（森を育てる人を育てる）が開催されました。

森林環境税意見交換会
10月3日

森林環境税の理解促進のための意見交換会がおこなわれ、森林環境税の支援による森づくり活動の事例発表をしました。

門川町省エネルギー推進委員会での活動発表
10月15日

門川町で開催された省エネルギー推進委員会において、横山理事長が子どもの森の活動の事例発表をおこないました。

宮崎県自然保護推進員大会での事例発表
10月18日

宮崎県主催の自然保護推進員大会にて、横山理事長が、子どもの森の活動の事例発表をおこないました。

CANPANからの取材
企業のCSR
12月1日

日本財団経由で（株）ウィル・シード（東京渋谷区）が寄付をした団体の寄付金の使い道や、団体の活動状況等の取材がありました。

協働商談会「まちセンでまちコンしよう」に参加
2010年3月6日

延岡市民協働まちづくりセンターで開催された、宮崎県北における協働の地域づくりを進めるためのパートナー探しに参加しました。宮崎県委託事業：NPO法人のべおか市民力市場

取　　材

- W＋ing
  宮崎県北の自然を知る
- わい WaiTV（延岡ケーブルTV）
  ＧＯＣＡＮの森下草刈り
  川をたのしく親しもう
  森づくりボランティア養成セミナー
  植樹＆春をたのしもう
- 夕刊デイリー新聞社
  川をたのしく親しもう
  森づくりボランティア養成セミナー
- 宮崎日日新聞社
  森づくり事業見直しを

ラジオ出演
MRT ラジオ「バリッと朝！～ボランティア・ワールド」
2010年3月9日

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン

毎月11日のイオン・デーには、地域のボランティア団体などの名前と活動内容を書いた投函ＢＯＸをお店に置いています。この日は、お客さまがレジ精算時に受け取られた黄色いレシートを応援したい団体の投函ＢＯＸへ入れていただくと、お買い上げ金額合計の１％が地域ボランティア団体などに希望する品物で寄贈されます。平成21年度子どもの森への寄贈額は、６０，２２６円でした。

***** ありがとうございました *****

「連合愛のカンパ」
連合宮崎横山会長から贈呈

***** 平成21年度助成 *****

セブン・イレブンみどりの基金	354,370
連合愛のカンパ	250,000
ＮＰＯ・ボランティア活動人材育成体験プログラム開発事業	300,000
宮崎森林環境税	291,000
宮崎森林環境税「高校生との森林づくり」	46,520
門川まちづくりプレーヤー支援	173,000

編集後記

春の草
"きれいだね"より
食べられる
森さくぞう心の俳句

春になると何故か日頃素敵に見える草花もおいしそうにみえるのは、わたしだけでしょうか？
この時期、山に負担を与えない程度に、野草・山菜をお裾分けしてもらっています。皆さんも森のマナーは守って自然の恵みを頂きましょうね。

2010年度活動予定

月	予定日	活動名	場所
4	25日	第９回通常総会	森の学舎
5	GW	２号五右衛門風呂製作	森の学舎
		竹林整備	妖精の森
6	5・6日	みやざき森づくりボランティア協議会総会	宮崎市高岡町
	19日	下草刈り	GOCANの森
	20日	下草刈り	森の学舎と周辺
7	4日	竹林の整備	妖精の森
	中旬	農をテーマにしたモデル環境学習活動	森の学舎
8	1日	川をテーマにした体験型環境学習	森の学舎
		竹林整備	妖精の森
9	4・5日	農をテーマにしたモデル環境学習活動「塩作り」	森の学舎
10	2・3日	農をテーマにしたモデル環境学習活動「パン釜づくり」	妖精の森
	23・24日	竹林の整備	森の学舎裏山
11	6・7日	農をテーマにしたモデル環境学習活動「パン釜づくり」	森の学舎
	14日	森をテーマにした体験型環境学習	森の学舎
	28日	みやざき森づくりボランティア協議会「森シンポジウム」	ＪＡアズム
12	4・5日	農をテーマにしたモデル環境学習活動「パン釜づくり」	森の学舎
	18・19日	竹林の整備	妖精の森
1	18・19日 23日	農をテーマにしたモデル環境学習活動 「バター、酵母菌、麦粉づくり、パン焼き」	森の学舎
2	6・20日	森づくボランティア養成セミナー	森の学舎
3	5・6日	竹林の整備・椎茸原木づくり	森の学舎
	13日	椎茸コマ打ち	森の学舎
	21日	植樹	妖精の森

子どもの森通信　第７号
発行・編集：特定非営利活動法人子どもの森広報委員会
〒889-0624 宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘２－２
TEL/FAX：0982-95-7800　Mail：office09@kodomonomori.info　http://www.kodomonomori.info